



エコアクション 21 環境活動レポート

対象期間 2019年5月1日～2020年4月30日

発行日 2020年6月22日

HP <http://www.utsugi-metal.com/>

1. 会社概要

- 1) 事業所及び代表者名
株式会社 宇津木金属
代表取締役 宇津木大輔

- 2) 所在地
本社：
〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田 2-20-3
電話 049 (284) 1172
工場：
〒350-0161 埼玉県比企郡川島町長楽 219
電話 049 (297) 7882

- 3) 設立、資本金
設立：平成 11 年 7 月 22 日
資本金：3500 万円

- 4) 事業規模

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
産廃処理量 (t)	913	919	1083
非鉄金属リサイクル量 (t)	593	589	530
売上 (百万)	290	272	311
従業員数 (名)	10	9	10

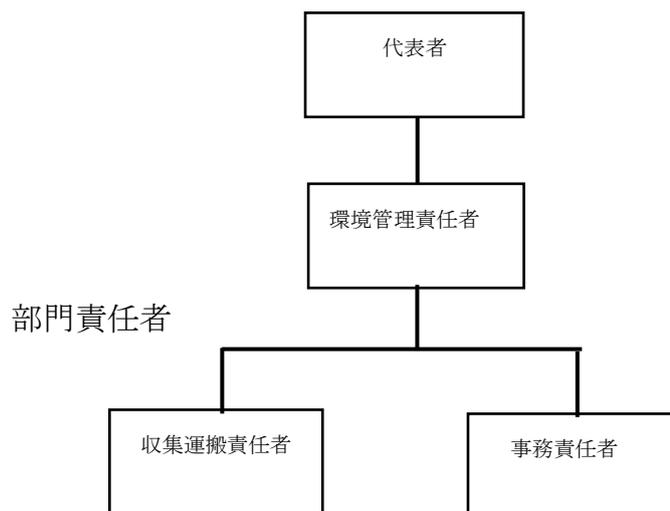
※従業員数内訳

役員 3 名
社員 5 名
パート (週 3 日) 4 名 ÷ 2 ⇒ 2 名

5) 認証登録範囲

全組織・全活動を範囲とする

6) 環境管理組織図



役割	責任及び権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ■環境方針の制定・誓約及び従業員への周知 ■環境管理責任者の任命 ■環境経営資源の確保 ■全体の取組状況の評価と見直し並びに指示
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■EA21 活動全般の構築・運営 ■EA21 の実施状況を経営者に報告
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■環境目標、環境実行計画の策定・実施 ■適用される法的要求事項の遵守
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ■環境目標、環境実行計画の実施

7) 事業内容

- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・非鉄金属回収及び販売業
- ・機械設備搬入搬出業

8) 廃棄物許認可内容

事業区分	区域	許可番号	許可年月日	有効年月日
産業廃棄物収集運搬業	埼玉県	01106064001	平成 11 年 10 月 4 日	令和 5 年 6 月 21 日
産業廃棄物収集運搬業	東京都	13-00-064001	平成 11 年 9 月 17 日	令和 5 年 9 月 1 日
産業廃棄物収集運搬業	千葉県	01200064001	平成 12 年 3 月 8 日	令和 9 年 3 月 7 日
産業廃棄物収集運搬業	神奈川県	01403064001	平成 14 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 31 日
産業廃棄物収集運搬業	群馬県	01000064001	平成 12 年 11 月 9 日	令和 8 年 9 月 23 日
産業廃棄物収集運搬業	栃木県	00900064001	平成 12 年 2 月 23 日	令和 9 年 2 月 22 日
産業廃棄物収集運搬業	茨城県	00901064001	平成 12 年 3 月 7 日	令和 9 年 3 月 6 日
産業廃棄物収集運搬業	新潟県	01509064001	平成 27 年 8 月 19 日	令和 2 年 8 月 18 日
産業廃棄物収集運搬業	長野県	2009064001	平成 27 年 7 月 14 日	令和 2 年 7 月 13 日
再生資源回収事業者	全国	第 N11K-01019 号	平成 23 年 7 月 16 日	令和 2 年 7 月 15 日
古物商	埼玉県	第 431130031898 号	平成 27 年 4 月 27 日	—

都道府県	廃プラ	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	汚泥	ガラスコンクリートくず	鉱さい	がれき類
埼玉県	◎	○	○	○	○	—	◎	○	◎
東京都	◎	○	○	○	○	○	◎	—	◎
千葉県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
神奈川県	◎	○	○	○	○	○	◎	○	◎
群馬県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
栃木県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
茨城県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
長野県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
新潟県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎

◎石綿含有（アスベスト）を含む

9) 登録車輛

車体形状	最大積載量	台数
クレーン	2.25 t	1
パワーゲート	3.1 t	2
パワーゲート	3.35 t	1
パワーゲート	3.0 t	1
平ボディ車	0.8t	1
クレーン	4.45t	1

2. 環境方針

【環境理念】

かけがえのない地球を未来に引き継ぐことが、人類共通の重要課題であることを認識し、全社員一丸となって企業活動のあらゆる面で地球環境保全に配慮します。

【行動指針】

環境保全推進体制を構築し、下記の行動方針を定め積極的な取り組みを推進します。

1. 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるため、次の取組を行います。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 廃棄物排出量の削減
 - ③ 総排水量の削減
 - ④ グリーン購入の促進
 - ⑤ トラック燃費の向上
2. 環境関連法規ならびに当社が同意した協定その他を遵守します。
3. 環境方針等必要な情報は公開し、社員一人一人に周知します。
4. 地域社会との共生を図り、社会貢献活動に協力します。

制定日：平成 29 年 5 月 1 日

株式会社宇津木金属
代表取締役
宇津木 大輔

3. 環境目標・計画

3-1 目標（中長期）

《売上増減に係る項目》 売上金額1億円あたりで算出

環境目標		基準年実績 2017年	2018年	2019年	2020年
CO2削減※1	kg-co2/億		-1%	-2%	-3%
		32,780	32,452	32,124	31,796
ガソリン	ℓ/億		-1%	-2%	-3%
		4,172	4,130	4,088	4,046
軽油	ℓ/億		-1%	-2%	-3%
		9,082	8,991	8,900	8,809
廃棄物	Kg/億		-1%	-2%	-3%
		4,150	4,108	4,067	4,025

《売上増減に係らない項目》

環境目標		基準年実績 2017年	2018年	2019年	2020年
電力	kwh		-1%	-2%	-3%
		5,993	5,933	5,873	5,813
水	m ³		-1%	-2%	-3%
		90	89	88	87
トラック燃費	km/ℓ		1%	2%	3%
		5.95	6.00	6.06	6.12
グリーン購入※2	品目		36%	45%	50%
		8/22	9/22	10/22	11/22

※ 化学物質は使用していない

※1 二酸化炭素排出係数は東京電力の平成29年0.474kg-CO2/kWhを使用

※2 当社該当適合品目は紙、文具・事務用品の分野に絞り調査

購入率は、《購入済み適合品数÷当社該当適合品数》により算出

3-2 計画

	取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力
	1) 不要電気の off
	2) 冷房 28℃、暖房 20℃
	3) LED 照明への切り替え
	4) 節電の表示
	化石燃料
	1) エコドライブの推奨
	2) トラックの定期整備
	3) 走行距離の定期チェック
	4) 空気圧の定期チェック
廃棄物排出量削減	1) 有価物、廃棄物の分別
排水量削減	1) 洗車時の出しっ放し防止
	2) 節水の表示
グリーン購入	1) 事務用品のグリーン購入
	2) 該当品目の調査
	3) 他社の調査
トラック平均燃費の向上	1) エコドライブの推奨

4. 結果・評価

(集計期間：2019年5月1日～2020年4月30日)

目標項目	単位	目標・実績・評価					
		基準年	目標・実績			結果	評価及び次年度の対策
		2017年 度 5～4月	2019年度 5～4月	目標	実績		
実績	目標	実績	結果	評価及び次年度の対策			
売上の増減に関係のある項目 (売上金額1億円あたりで算出)							
CO2排出量削減	kg-co2	32,780	32,124	33,849	×	評価：電力使用量の増加が響いてしまった	
	%		△2	△2		次年度：購入電力消費量を抑える	
ガソリン使用量の削減	リットル	4,172	4,088	4,085	○	評価：エコドライブの効果が出了	
	%		△2	△2		次年度：エコドライブの強化	
軽油使用量の削減	リットル	9,082	8,900	8,747	○	評価：エコドライブの効果が出了	
	%		△2	△4		次年度：エコドライブの強化	
廃棄物排出量の削減	Kg	4,150	4,067	2,540	○	評価：廃棄物の分別を徹底した	
	%		△2	△38		次年度：引き続き解体選別の精度を高める	
売上の増減に関係のない項目							
電力使用量の削減	kWh	5,993	5,873	8,896	×	評価：猛暑や冬季のエアコンの使用量が増加した	
	%		△2	48		次年度：掲示物による節電再徹底及びクールビズ、ウォームビズの実施に積極的に取り組む	
水道使用量の削減	m ³	90	88	70	○	評価：洗車回数を減らし大幅削減を達成	
	%		△2	△22		次年度：環境整備に気を付けながら、節水を心掛ける	
トラック燃費の向上	km/l	5.95	6.06	6.9	○	評価：エコドライブの効果が出了	
	%		2	16		次年度：定期的にミーティングを開き、その強化を図る	
グリーン購入の促進	品目	8/22	10/22	10/22	○	評価：適合品を購入し使用するだけなので比較的容易に達成できた	
	%	36	45	45		次年度：22品目に対し目標である45%以上の購入となる10品目以上の導入を目指す	

※ 化学物質は使用していない

※1 二酸化炭素排出係数は東京電力の平成29年0.474kg-CO₂/kWhを使用

※2 当社該当適合品目は紙、文具・事務用品の分野に絞り調査

購入率は、《購入済み適合品数÷当社該当適合品数》により算出

5. 環境関連法規遵守状況及び違反、訴訟等の有無

法令名称	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none">・分別の徹底・一般廃棄物の適正な廃棄処理の委託・取引業者との委託契約締結・マニフェストの取り交わし・水銀廃棄物の適正処理	遵法
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none">・廃車時の処理費用負担 (自動車リサイクル券の購入)	遵法
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none">・特定家電製品廃棄時の処理費用負担 (家電リサイクル券の購入)	遵法
グリーン購入法	<ul style="list-style-type: none">・環境物品等の選択・購入義務	遵法
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none">・浄化槽の定期点検・水質検査・清掃	遵法
埼玉県生活環境保全条例	<ul style="list-style-type: none">・アイドリングストップの推進・エコドライブの推進	遵法

令和2年4月に環境関連法規の遵守状況を確認した結果、問題はありませんでした。

尚、過去3年間、関係当局からの違反及び近隣からの苦情等の指摘はなく、また訴訟もありませんでした。

6. 代表者による全体の評価と見直し結果

エコアクション 21 の活動に取り組み今年で丸 6 年が経過した。
本年度、目標未達となったのは電力使用量のみであった。この項目に関しては目標値に対し 48%超過という不本意な結果となった。

それが主な原因となり二酸化炭素排出量削減目標は目標値 3%超過という結果にも繋がった。

この結果を生んだ一番の要因は、事務所増設と、それに伴う事務所内作業員増員ことで冷暖房の使用頻度が劇的に増加したことだと考えられる。

本年度の一番の反省点としては、事務所増設、事務作業員増員が決まった時点で今回の結果を想定しておくべきだったこと。また、事務所内での省エネ対策が不十分であったことだ。

この 2 点に関しては早速対策を講じることとする。

具体的には 2019 年を基準値とした目標値の再設定を検討する。

その他、弊社における一番の二酸化炭素排出要因となるトラック運転時の軽油使用に関しては、本年度も順調に削減目標をクリアできているので継続していきたい。